

おでかけワークショップ(美濃加茂商工会議所 女性会) ヒアリングまとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023年9月20日(水) 15:30~17:00

場所:リバーポートパーク美濃加茂 ビジターハウス 2階

参加者(事務局を除く):15人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆前計画白紙の経緯について

参加者)

市民ではないので、すごく私事的なことを伺います。候補地が、白紙になった等の噂を時々聞きます。そもそも、決定にあたっては住民投票がなされたという話を聞いたりしますが、住民投票がなされた過去があるのですか。

市長)

住民投票はしておりません。私が市長選で当選した時に、自分自身もこの政治的な決定に対して多くの市民の方が、前計画では納得できないのではないかと感じたため、議会にもお話をした上でアンケートを取りました。その結果、賛成は 26.8 パーセント、反対は 40.8 パーセントという差がありました。また、前計画はコロナの影響がない中での計画であったことも考慮し、世の中的に働き方も変わる中で、市役所を今後も利用する皆さんと考え直した方がいいのではないかと考えました。ある意味で政治的なことも含めて

の決定ですし議会でも逐一、確認はされているのが今の状況です。計画はあったが自ら白紙にしてもう 1 回作り直しています。

参加者)

その時のアンケートでは全市民の何パーセントから集計ができましたか。

市職員)

資料の 4 ページをご覧ください。右半分の上から 2 つ目に市民アンケートについて書いてあります。15 歳以上の市民 4000 人を対象とした結果、回収率 45.2 パーセント、1809 人の方から回答をいただきました。

参加者)

これは 2 回目ですか。1 回目は、代表者からのアンケート回答が 1000 以上であれば誤差は 3 パーセントとなっていますが、2 回アンケートを行ったということですか。

市職員)

市民アンケート自体は、昨年度の 7 月から 8 月にかけて行いました。正式に市民 4,000 人にアンケートを送ったのは、この 1 回だけです。他にも、元々の旧基本構想や旧基本計画を作成する中で、ワークショップの来場者の方やイベントへお出かけして色々な方から話を聞くアンケートを行いました。

◆基本構想策定に係る費用・委託について

参加者)

平成28年から令和 4 年の 3 月末まで、基本構想も基本計画もやっていました。市長が選挙で選ばれ、今の新庁舎計画を白紙にしましたが、3,000 万ぐらいのお金をかけてやってきた前計画の結果はどうなっていますか。前計画は白紙だからでは説明が足りないと思います。前の結果と掛かったお金の報告が 1 番必要じゃないですか。今やっていることが悪いとは言いません。でも、また同じことをやろうと思って、コンサルタントにたくさんお金払いますよね。前のミユキデザイン、玉野総合、サーベイリサーチセンターで、今、テイコクですよね。以前のワークショップでもコンサルタントが来ていました。7 月に市職員 6 人と富士通のフォロー 2 人の計 8 人で新庁舎のための組織ができました。その後、市長がワークショップをやるために若い人材 10 人を指名しました。他に素敵な人たちがいっぱいいるのに、どうしていつも丸投げで、コンサルを委託して使うのですか。コンサルで入ってくる人がいるけど、美濃加茂市を歩いたこともない、見たこともない、食事したこともない人たちがやってきて、どうして美濃加茂市のことは分かるのですか。今、市長が、任命した 6 人と富士通 2 人と市の職員 12 人、立派なスタッフがいるじゃないですか。自分の周りの立派なスタッフ、その人たちにお任せしたら、もっと素敵な美濃加茂市ができると私は思います。

市職員)

コンサルの活用については、昨年度の検証した中で、我々のやっていることが市民に届いてないことや駅前ありきである、市が完全に誘導しているといったご意見をたくさんいただきました。確かに、言われるようにいろんな職員がいますので、そこだけでやっていく方法も 1 つあります。ですが、市の職員が全てやってしまうと、また以前の方向性に引っ張っていくのではないか、という批判も必ず出てくると思いますので、美濃加茂市を知っている、知っていないというよりも、第 3 者の目で今日の皆さんの意見、考え

方をしっかりまとめていただくという意味でコンサルに入らせていただいています。我々が誘導してはいないということを、しっかりと形作るために、今回、委託を活用しています。

市長)

今のご意見は実は庁内でも、かなり戸惑いの声が出ており、7月のワークショップのあとも、お出かけワークショップを何度か開催しています。ファシリテーションは難しい面があり、今おっしゃられたように、美濃加茂市のことを知らない人がなんでそんなことをいうのと時々言われると、私も少しおかしいなとも思います。今でも担当課では、このファシリテーションのあり方について、任せきりにせず、我々としてはもっと厳しくやるべきことを依頼して、任せないといけないと思ってやっております。

実はこの間まで新庁舎整備課の正職員は2人でしたが、もう1人正職員に入らせていただきました。市長が任命した12人はあくまでもワークショップの時だけの参加で、若手の意見を取り入れることや、若手にも自分のことだと思って市民の皆さんと意見交換してもらおうと思って入れました。富士通も含めて新庁舎専属ではないので、これから新庁舎整備のボリュームが大きくなるにつれ、市役所の職員を新庁舎整備へ割かないといけないですが、他の部署も人が足りていません。職員の数が足りないというのは、正直全体の課題であるので、そこに今回のコンサルの力で、プラスアルファの力をいただいている状況です。

参加者)

広報誌に出ている情報によると、新庁舎整備グループへ市の職員に加えて民間の企業(富士通)から2人がみえたとありました。富士通の方たちは行政向きの人たちで、市にとってはいいけど私たちにとってはいいことはないのではと思います。このような世の中で、経営者も大変で市民はもっと大変だが、今までのやり方ありきでなく、違う方法でできないのでしょうか。丸投げするのはどうかと思います。

参加者)

費用についての資料はそちらだけあって、私たちがもっている資料だけでは、話題についていけないです。

市職員)

これから内容の説明をさせていただきます。まず、白紙になった旧基本構想と旧基本計画がございます。これらが、平成28年度から令和3年度までで作ってきたもので、全てを合算して3,023万円の金額がコンサルタント会社の委託費用です。正確に言いますと、委託した金額は3,023万円ですが、それ以外にも、例えば、新庁舎の関係で出張した時の旅費や、コピー機使用料、担当の職員の給与、人件費等は別でございます。その辺りの説明がしっかりできるように、新庁舎に係る経費の合計について算出する必要があると考えております。

◆災害対策について

参加者)

老朽化して建て替えるのであれば、1番大事なことは、洪水や地震といった震災に強いこと、それと避難地として適当な広さがあること。地盤の強さは委託しなくてもわかるのではないですか。そしたら、これほど日数は掛からないのではないですか。もし何か災害があった時に、救助活動ができる場所、駐車場、避難所になる場所で、洪水に強く地震に強い場所はそんなにはないと思います。それをなぜ委託しないといけないのですか。

◆新庁舎整備の進め方について

参加者)

場所を指定せずに市民に聞いても、プロでもない普通の人が出たところで、そこが最適かどうか分かりません。ある程度色々なことを調べた上で候補地を作って、ここそこならみんなが使える最適な場所ですと示すべきだと思います。適当にみんなが出たところに決めると、そこがダメだった時にさらに時間かかるので、ある程度最適な場所を決めてから、その中で選ぶべきだと思います。そして市長が、僕はこうしたいと意見を言ってくれた方がみんなが付いていきやすいと思います。

参加者)

それを希望している方が多くて、市長になられたのかなと思います。市長に任せられると思って投票された人が多かったのかなと思います。ステップ4の新庁舎の機能決定というのも、今機能しているのであれば、新たにこういうことがしたいなど聞き出したら、きりがないです。私たちに聞かれてもと思うので、ある程度プロに決めてほしいと思います。候補地についても、私は地盤調査が仕事でないで、ある程度この地盤が硬いですよ、大丈夫ですよっていうのを、例えば市長に思いがあるのであれば、多少、坂で行きにくいけど、ここが1番防災・地震に強いですよと説得してくれたら、家から遠いけどいいかもしれないと思えるかなと思います。アンケートだと、自分の家の近くを選んでしまうと思います。

市職員)

今おっしゃった、複数候補地の件ですが、ステップで行おうとしています。今回のロードマップのステップ5のところを見ていただきますと、複数候補地の選定と書かせていただいております。市としては、例えば、ここは農用地なので、宅地開発したら10年ぐらいかかるかもしれません。ここは地震が起きた時、土が液状化してしまう場所のため、心さわしくないのではないかと。ここは100年に1度の洪水で水がつくところです。ここでもいいと思いますか。と聞くようになるかと思えます。金額は60億円ぐらいかかると言われていたが、7、8年前から1.25倍物価が上がっています。加えて、他の公共施設でも老朽化が進んでいますので、市として新庁舎にかけられるお金の上限を提示した上で、市民の皆さんの意見を聞くと思っています。

参加者)

そうであれば、ステップ5を最初に行うべきだと思います。

参加者)

ちなみに今、候補地は出ていないのですか。

市職員)

候補地は今出ていません。検討中です。

市長)

前の計画を振り返ると安全は大事だけど、せつかく庁舎を作るなら、庁舎を中心に経済が活性化するような庁舎にしてほしいという意見や、最近、市民同士の繋がりが減ってきたから、市民の交流の場も新庁舎に入れてほしいなど、色々なニーズがありました。それらを全部一緒にすると、費用が上がるので、優先順位をどうするかが重要になります。安全のためだけでいいよっていうご意見も多くあります。それに絞

ってしまえば、もっと安全な場所や土地の安いところもありかもしれませんが、不便で困るから、1 か所にやっぱり全部集めてほしいというご意見もあります。他には、連絡所が近くにあるのだから、連絡所でなんでもできるようにすれば、新庁舎が小さくてもいいよという意見もあります。今の市役所は、40 年前と同じだけ雨が降ってしまうと水に浸かるところにあるため、その時のために避難場所として文化の森に、パソコンなどのサーバーも含め、我々の災害対策の場所は設けています。何かあった時に対応する場所は、病院もありますし、少し高台のところでも色々対応できるような訓練とかも進めています。そういったことも考えた中で、新庁舎に何を期待するのかが複雑に絡んできています。

優先順位をつけるためにも、行政の役割として地域でできること、市民の皆さんが担っていただけることは何かということはこのワークショップで 1 時間半ぐらいかけて、様々な問題に気づいてもらいたいという意図で行っています。最短に行うのであれば、いきなりステップ 5 でもいいですが、そこから紐解いていかないと、前のようにいくつか問題が発生する可能性が高くなるため、ステップ 1 から組めるが良い計画と考えています。

参加者)

今の美濃加茂市民が未来にどのぐらいの人口になるかっていうことをよく考えてみると、今の器がいるかどうかということも考えないといけないと思います。また、これからデジタル化が進んでいくと、市民が市役所に行くのは生まれた時、死んだ時、出ていった時、結婚した時、離婚した時の 5 回ぐらいだと思います。そうすると、今の器がいるかどうかということと、市役所の中でどういう仕事をするかということで、器を考えるのがまず大事なことだと思います。

ワークショップでは 88 名の意見を聞いたとのことですが、5 万 5 千人の人口がいる中で、88 名の意見が真実だと思っている市役所の気持ちは分かりません。加えて、そもそも新庁舎がいるのか不思議に思います。建て替えるのであれば、平成 15 年に耐震補強をお金をかけて行いましたが、何をやったのか不思議です。今回のワークショップ以外に中学校で意見を聞いたとのことですが、全然世間のことも株価も知らない、納税もしていない子供たちに話を聞く必要があったのか不思議です。納税する人たちに話を聞いてほしいなと思います。

先日北海道に行きましたが、ある村では廃校した小学校でクラフトビールを作っていました。美濃加茂市も、例えば三和や山之上は人口が 100 人もいない場所なので、学校を統合し、スクールバスで子供たちを通わせ、廃校を市役所にしたら、随分変わるのではないかと思います。SDGs ではないが、古いものを上手に使ったすごい町と認知されるのではないかと思います。他の市町村をみても、あるものを活用しているところもあるので、新しく庁舎を作らなくてもいいのではないかと思いますので、よく考えて頂きたいです。

参加者)

市役所は仕事をする場所なので、市のあり方と市役所は全く別の場所だと思います。有事の際は、地元のコミュニティセンターで対応すればよいと思います。今 5 万 5 千人の市民と言いますが、多死社会で 3 分の 1 くらい減ると考えられますので、今の器の庁舎は本当に必要なのか疑問に思います。

市長)

市の課題に市民の方々に関心を持ってもらわないといけないと感じています。最近の問題ですと、ごみ

の収集場所を管理する人は一部で無法状態になっているような地域があって、すぐ市役所に通報する人もいれば、しっかり自治会で管理している地域がありますが、納めている税金は一緒に不平等じゃないかという声も出ています。最近では、関心を持ちたくないのに、耳にも入ってこないような非認知の方も出てきてしまっています。新庁舎には 60 億円というとんでもないお金を使うわけなので、すごく大事な市民アンケートであります。結果だと 3 分の 1 以上の方が判断できなかったとか知らなかったと言われてしまっています。本当は、もっと 1 人 1 人の職員さんの力で、出会った人に声をかけて聞いていく機会を作らなければいけないと思っています。情報発信は、議会でも指摘してもらっています。大きな課題なのでなんとかやっていきたいと思っています。

◆建設費用について

参加者)

勉強不足で申し訳ないですが、60 億というのはどこから出て、国からいただけるお金ってというのはどういう状態になっていますか。

市職員)

市の庁舎を建てる時に、国の補助金は基本的にはありません。例えば、そこに交流センターのような部分や子育て支援施設等、市民に使われる施設が含まれると、その分に対して一部補助金が出る場合がありますが、市役所の職員が働くワークスペースを作るだけということであれば、ほぼ何もないという状況です。県産材の木材を使い、内装を木質化する場合は、県から 1 平米あたり 5000 円、上限額 3000 万の補助金ありますが、県産材を使った場合の上乗せ分に対しての補助金です。そのため、建物そのものに対しては基本的にはほぼありません。

参加者)

結局借金になるわけですね。借金が今、トントンくらいじゃないですか。

市長)

借金はありますが、全国から見ても徐々に減らすことができます。

市職員)

庁舎の建設基金を平成 24 年度から少しずつ積み立てをしており、今、貯金ができていると思います。全てを、貯金して建設してしまうと、今美濃加茂市にお住まいの方だけが負担をすることになります。これを、借金をして 20 年、30 年かけて払っていくと、これから美濃加茂市に住む人たちも一緒に負担をしていくこととなり、公平となります。他の自治体でも、建設費の約半分を積立金で、残りの半分を市債(借金)とすることが、一般的な考え方になります。

◆市職員のための新庁舎・自治会について

参加者)

市役所に行くとも思います。建物が耐震でいいけれど、現状もうもたないのではないかと感じます。例えば、家を新築にするとがんばろうという気持ちになります。今の庁舎で仕事をしている職員としては気持ちがあがらないのではないかと思います。いろいろな意見がありますが、新庁舎にすることも市民、職員のひとつの希望だと思います。

また、新庁舎も大事ですが、自治会の問題についても大事で、自治会の費用を払っている人と払っていない人で、バランスが取れていない部分が気になることがあります。美濃加茂市があまり力を入れていなかった自治会に力を入れると、すごく楽になることが増えると思います。

市職員)

庁舎の状況についてお話をさせていただきます。今 62 年経った庁舎で、平成 14 年、15 年に耐震工事をやっています。したがって、例えば熊本の大地震のように震度 6 弱強の地震が来た時に、建物がぐしゃっといきなり潰れることは基本的にないと思っています。ただ、熊本の時に本震と余震がありましたね。震度 6 弱が 2 回来ました。そうなった場合に建物が潰れないという保証は今のところないです。1 番問題になるのは、多分最初の地震だけでも、水道・ガス・空調はほぼ止まります。62 年経って、水道管や何もかもがかなり老朽化していて、ポンってずれた瞬間には多分全部止まってしまうので、市役所の仕事をあそこでやるということは非常に難しくなります。例えば、証明が欲しいと市役所にお見えになったとしても、それを出すことができなくなってしまいます。もし庁舎を建て替えない場合、現庁舎の設備を直すのに、新しい庁舎を建てるだけと同じぐらいの費用がかかるだろうと言われていました。今のものを使うのか、立て替えるのか、そこは皆さんの色々なご意見を聞いて、どうしていきべきなのか考えなきゃいけないです。

新潟県の長岡市は駅の近くにありますが、元スーパーを買い取って改装して市役所としています。美濃加茂市でもそういった場所があれば可能性はあります。今日こういったご意見を皆さんからいただいたことは、非常に大きなヒントになります。一方で、過去に私が説明会等を行った際に、美濃加茂市の顔としてお城のようにしてほしいといった意見をいただいたこともあります。意見は色々ありますが、その中でどれだけの費用がかかるのか、あるいは我々が行政として皆さんに市民サービスを行っていく上でどういった方法が 1 番適切なやり方なのかを見極めるために、皆さんの意見を聞いて、最後は行政が調査を行いながら、見極めていきたいと思っています。

◆水害対策について

参加者)

少なくとも、日立市役所のようにはやってほしくないですね。東日本大震災の影響で新設されましたが、その後、洪水で浸水しました。あれは、想定外で仕方ないって言えば仕方ない。よく行政が想定外でしたって言われるからね。でも、そういう逃げ道は作ってほしくないですね。過去に、水に浸かったとこだけは絶対に話してほしい。もう、それだけは、最低限やってほしいと思います。水害が一番怖いと思います。

市職員)

水害は、今、雨雲が来ているだとか、ある程度予測ができる部分があるので、逃げることに對する時間的な余裕はありますが、やはり建物浸かってしまうと、色々支障も出てきます。日立市役所と今回我々が考えていることと違うのは、万が一、水に浸かったとしても、1 階に電気設備等を置かずに、2 階や 3 階にそういった設備を置くことで、万が一何かがあったとしても大丈夫なようにしていきたいと考えています。日立市役所みたいにならないよう、しっかりと我々も 1 つの教訓として考えていきたいと思っています。

市職員)

先ほど、スペースの考え方もご意見いただきましたので、今の市の考え方をとお話させていただきます。やはりコンパクトな市役所を目指すべきではないかということが、令和 4 年度の検証の中でも、多く出た意見です。令和 4 年度に取ったアンケートの結果も今日持ってきておりますけども、あまり市役所に

見える方が少ないです。年に数回程度という方が 48.7 パーセント、年に 1 回程度で 29 パーセント、利用していないという方は 14 パーセントとなるので、90 パーセント以上の方がそれぐらいのレベルということになっています。前に取ったアンケートを見てみますと、大体、市役所に来る方の 70 パーセント以上が市民課に来るお客様で、住民票と証明書の戸籍、その 3 つで 90 パーセントを超えています。今後、やはりデジタル化になっていきますと、連絡所どころか、自宅で申請ができるというような時代が来ると思います。そうすると、今まで市役所に来ていた方は来なくなると考えられます。

時代の流れで予測できることもありますし、例えば、庁舎ができた 62 年前は、おそらくお客さんは今と全然違っていると思います。例えば、今だと介護保険制度がありますが、60 年前はそんな制度はなくて、ご自宅でおじい様、おばあ様を面倒見るというのが、主流でした。でも、今は変わってきている。今、例えば子育ての関係の悩みを相談される方がものすごく増えていますが、60 年前にそれがあったかということ、共働きが少なかった時代ですから、そういった相談はあまりありませんでした。時代によって、相談の内容も変わってきています。また、デリケートな内容になってくるので、やはり個室的なところも必要かもしれない。今はないですね。ただ、デジタル化で来場者の申請なんかはまた変わり、自宅でできることが増えるので、そういったことを予測しながらスペースも考えていく必要があるかなと思っています。

◆これまでの検討結果について

参加者)

今お配りいただいた資料について、毎年 900 万だとか 1800 万だとかの費用を使って一体何をして、その結果を市民に落とさないのですか。落とされているのですか。これって膨大なお金だと思います。それを使いました、でも白紙に戻して、今期 2400 万でっていう話じゃなくて、今までこれだけの結果があって、こういうコンサルを受けたよっていうのは、市民のお金だから市民に公開するべきだと思いますけど、そこはどうお考えですか。

市長)

そこはおっしゃる通りで、情報発信が足りないというのはご指摘の通りだと思います。議会では、白紙に戻すということは、今まで積み上げてきた意見とか予算を 1 回白紙に戻すことになるのではないかとご意見が当然あります。それでも、先ほどの 60 億円という投資を考えた時に、この決して小さい金額じゃない 3000 万であっても使える情報とか、使えるデータは引き続きしっかり使えます。これからの建設において 60 億を使った後に、無駄なものを作らないように、今の段階で立ち止まることは立ち止まるということで、何とか、議会の方にもご理解をいただいています。伝わっていないと言われると確かにその通りなので、この辺りをもっと市民の皆さんに、実は前の計画でこれだけ使っていたと、でも同じ失敗をするつもりはないです。というご理解は得ていかなきゃいけないと思うので、そこはご指摘をしっかり受け取りたいと思います。

参加者)

この資料を見て驚いたぐらいで、この初回の 945 万円でどういう情報をこのミユキデザインさんからもらったのか、それはやっぱり市民へ落とさないといけないと思います。市役所の中で取捨選択をされているとのことですが、捨てようと思った情報が市民の中では捨てないでおきたい情報かもしれないから、大事なお金を使った情報のどれを選んでどれを採択するかというのは、市民にも公開すべきだと、私は思

います。

市職員)

現在、旧基本構想や旧基本計画はみんなの新庁舎というポータルサイト、いわゆるホームページに全て載せてあります。

参加者)

例えば、私の仕事柄、厚生労働省のホームページなど、難しい書類を見にいりますが、いっぱい文章だけ書いてあって、読み解けないことがあります。文章を見ただけで、多分ほとんどの市民は、はいて、こう、その場から去っていく。例えば、今回いただいた、このロードマップですら、よくわからないという市民がほとんどなので、もうちょっとわかりやすく、どういうことコンサルにもらったのか、どんなデザインをもらったのか、調整してホームページにあげていただくのがお客様たちじゃないかなと思うんですけども。もらったものを載せるだけであれば誰でもできるので、そこを調整して市民の方にわかりやすく伝えるということをやっていただくのがよろしいかなと思います。

市職員)

ありがとうございます。本当に我々が 1 番今、難しいなと思っているのは、市民に情報を届けるということが非常に難しいと思っています。例えば、メールで皆さんにお知らせしたり、ホームページに載せたり、いろんな形で考えていますが、じゃあ、それで全員に届いたのか、理解していただいたのかと言われると、そうでない場合がいっぱいあるわけですね。今、SNSも使って、どんどん、媒体を広げることがやっていますが、我々職員が地元に行って、そこでみんなと会話する中でいろんな情報をお話していくってことも、とても大切だと思っています。ただ、先ほど市長も言われましたけど、本当に職員はいっぱいだけの状況の中で、なかなか外へ出てきてないという反省点もあります。先ほどちょっと、デジタル化、デジタルトランスフォーメーションという話があがりましたが、そういうことをやっていると、市の職員も時間ができて、外に出てみなさんとお話する時間ができるといことも合わせて一緒に考えております。どう情報提供すべきか、試行錯誤してやっていきますので、また、素晴らしいご意見があれば、ぜひお聞かせいただいて、実現に向けて我々も頑張っていきます。

◆職員数について

参加者)

今、市の職員は足りていますか？定数がありますよね。

市職員)

定数条例がありまして、その定数は足りています。産業累計や、人口などからみた、全国の 78 類似団体の中で、美濃加茂市の職員数は下から 4 番目に少ないです。この 78 団体の平均値と比較して計算してみると、美濃加茂市職員は 50 人増やすと平均値になります。

参加者)

人が足りない、時間がないと言う話であれば、単純に増やせばいいと思います。

市職員)

例えば 1 つの年に 50 人雇ってしまうと、同年代の人ばかりになってしまいます。年数が経った時に一

気に抜けてしまう問題が起きるので、ある程度計画的に増やしながらか、中途採用で 30 代、40 代の少ないところを穴埋めしています。

参加者)

例えば今年度予定外に辞める職員の方はいますか？

市職員)

今年度はまだわかりませんが、昨年度は 1 人、2 人ですが、若い方で自分のやりたいことを見つけたから退職しますという方も少なからずいました。

◆市長の役割について

参加者)

この件に関して、市民の皆さんの意見といつもいいますが、市長が 1 番トップなのでお願いしたいのは、リーダーとして引っ張ってほしいと思っています。60 年後でも 70 年後でもここでよかったと思えるような市役所になるように、リーダーとして責任をもってほしいと思います。

市長)

最初に申し上げた通り聞けば聞くほど、選択肢は増えてしまうので、職員さんからも苦しくなってきましたか？と言うことも当然あります。今日やってもらったように、色々な方の意見をまず聞く。聞かないことには、いいご意見や課題が見えてこなかったりします。今回いただいた意見は、地域や自治会のお話であったり、職員数の話にも関係してきました。ただし、時間をかけすぎるとは全くないので、ここぞという時にはしっかり方向性を示しその理由を説明したいと思うので、逃げるつもりは全くありません。

◆決定方法について

参加者)

決定方法に市民アンケートや住民投票がありますが、そうすると責任は誰がとるのですか。

市長)

最後は住民が決めることが大事だとは思っていますが、住民投票をやるにしても、あれもこれもそれものというつもりもないので、このまま進めていく中でしっかり市として、抑えていくことが出てくると思います。市民に丸投げということには絶対なりません。

◆プレミアム商品券について

参加者)

産業振興課もいらっしゃるので、一つだけ聞いてください。2 回プレミアム商品券出しましたよね。前とやり方を変えましたよね。その結果どうだったのか、何も反映していただけてないと思います。今後 3 回、4 回あるかもしれませんが、前のことが、勉強されていない。プレミアム商品券に関して、何が良かったのか、何が悪かったのか私たちは何も聞いていない。

市長)

プレミアム商品券の件だけでなく、今日改めて感じるのは、市民のみなさんと色々な事業をやりませけど、その結果報告を議会の方でチェックはしていますが、市民の方向けに出せていなかったと感じます。

来年こうしますばかり聞いて 1 つ 1 つ、良かったことも悪かったことも含めて、関心を持っていただけることは、無関心ではない。議会をクリアできてればよい時代ではないので、今後はインターネットを使いながら、情報公開をやっていきたいと思っています。

市職員)

全体の費用対効果を公開してないのは事実です。現在のものは 10 月いっぱいまでは商品の引き換え期間中です。2 回やらせていただいたところで、その反省を踏まえて、少しでも事業者さんの負担を減らしていこうという趣旨で、3 回目をやらせていただきました。それが昨年です。その結果、少しでも事業者さんへという観点で始めましたが、物価高騰とちょうど重なってしまった状況です。プレミアム商品券を利用する消費者対応と事業者対応が一緒になってしまいました。本来の目的は事業者さんの支援ということで始めた事業でしたが、生活支援も入ったため、途中で締め切りを昨年の 12 月に急遽伸ばさせていただきました。事業者さんには大変ご迷惑をおかけしてしまいました。総合的に考えて、今度こうしていきたいということはありませんが、実際に予算がつくかどうかは決まっていないので、新規にやる予定は今のところ出していないです。

1 つ新たに分かった内容につきましては、12 月の期限の時に多くの申し込みがあったということで、事業者さんに補助金としてお金を振り込みました。その後、本年度の 10 月までに使える期間を伸ばしました。私も商品券を申し込んで買ったのですが、まだ持っています。お金出して買ったが、使わずに残っているという事例が結構あることが見えてきました。今の時期に商品券を事業者さんへ持ってくるお客さんもいらっしゃり、戸惑われている事業者さんもみえます。事業者としては最初にお金が入っているので、そこで完結していますが、5000 円分を出すと、その分の対価として商品を出さないといけない。でも、それはその時の仕入れの計画には反映されていないので、時期的なずれが非常にあるということが今の反省点です。

参加者)

わかりました。もうひとつ、事務費用が掛かりすぎる。それと、外の業者に丸投げしすぎだと思います。この間商業部会でも話をしましたが、バックにかかるようなお金があるので、良かったのか。税金を使っているのだから、私たちがよかったのか分からないことも色々と検証していただいて、もう 1 回、改めて何かの形で報告していただけたらと思います。

◆情報管理について

参加者)

本当にあってはならないような、行政のお役所仕事だなと感じる経験しました。去年、主人が亡くなりました。2 月に中部国際医療センターのデータを見たら、私自身だけでは介護できないぐらい悪くなるだろうと思って、介護申請をしました。ただ、面会できなかつたので、オンラインの面会でしたが、主人が亡くなって一月過ぎてから、「介護認定できませんでした、検討します。」と連絡が来ました。さらに 2 ヶ月してから要支援に認定しましたと連絡がありました。こういうことがありますか。最初の 1 回、支援にできませんでしたというのは、オンラインだから元気そうに見えただろうし、分からなかったかもしれないけど、病院から出された資料を見て、緩和ケアがなければ絶対自分では面倒を見れないということは素人の私も判断が付きまして。それにも関わらず、ちゃんと先生も出ていらっしゃるでしょうし、介護の方、皆さんプロで

すよね。それで、死亡届を出して、保険証を全部返したのに、それが亡くなって2ヶ月過ぎてから認定しますって、どう思いますかと。今コンピューターの時代ですよね。亡くなったって言ったらわかるはずですよ。これ言うつもりなかったですよ。だけど、職員の人数が足りないと色々おっしやったら、人数が足りなくてもコンピューター1つで出るわけじゃないですか。

市長)

ちょっと私も今即答はできませんけれども、本当に申し訳ない限りです。職員の人数ではなくて、個人情報管理の仕方が、介護は介護、住民票は住民票と縦割りにまだなっているところがあります。そのミスであって、本来であればチェックはできるはずなので、こちらの対応に問題です。申し訳ないです。

◆今後の進め方について

参加者)

ずっとお話を聞いていました。私の思い、意見をちょっと述べさせていただきます。美濃加茂市は70周年になります。それから、人口が5万5千人います。人口が減ってきているのに、市庁舎はそんなに大きなものを建てなくてもいいと思います。

本当に私がずっとここに住んでいて思うことは、やっぱりどこに建てても同じことですよ。木曾川のあたりに住んでいる人は、洪水になるからダメだとか、今の庁舎は地震が来たらだめだとか言いますが、洪水は今でも線状降水帯がいっぱいあるので、これから先だっていくらでもありますよ。そういうことよりも、まず市庁舎のことだけを考えたら、何年前にあったように、太田駅前が開発をして、国の補助もしてもらえとか、色々ことを聞きましたが、私は本当にあの時に、この土地に住んでいて、今しかやる時がないと思いました。でも、それはダメになっちゃったから仕方がないけど、これからは後退することなく進めてほしいから、皆さんによく知っていただいて、どうしたらいいのかということを実際に真剣に考えていただいて、今の市庁舎の場所に建て直してもいいし、よそに建ててもいいけど、何がしたいのかということを実際に、切実に考えてほしいです。

先ほど市長が言われたように、学校のトイレが汚いとか、どこどこを直したいとか、そういうことは各家庭でもあります。直したいけどお金がないとか、建てたいけどお金がないとか、そういう切実な問題があって、市庁舎のことも皆さん考えていると思いますが、何が1番大切なのかということを考えていただいて、やるならやると、皆さんに賛同いただいて進めてほしいです。コンパクトでいいから、人口も減ってくるし、60年先どうなっているかわからないけど、時代は変わってきて、市役所の仕事もリモートでできるようになって、本当に私はコンパクトで無理のない市庁舎を建てていただきたいけど、駅前でやると、災害のことを考えると、駐車場はなく車を置けないという点もあるから、そういうことも実際に考えて市庁舎作りをやっていただきたいと私は本当に切に思います。木曾川に住んでいる中山道沿いの人も、水が来たらどこよりも先につく。でも、地震が起きたら、どこの家にもくるので、本当に真剣に考えて意見交換をしていただきたいと思います。